多くの場合、国連各機関は、政府サイドに大統領直轄下に農村女性委員会を組織化する一方で、数多くあるローカルNGOを実際の実行機関として活用し、なおかつホンデュラス政府の政策アドバイザーとして私たち調査団のホンデュラス政府機関の面接でもその存在をアピールしていた。

また、カナダ政府の援助機関CIDAは、この報告でも多くの箇所で参考にさせていただいた『ホンデュラス女性のプロフィール：1991』を調査し、まとめ、刊行している。その刊行物もどんな分野の開発プランナーでも活用できるようにホンデュラスにおける女性の問題の実態、歴史的背景、ジェンダー問題の重要性などが示され、資料の少ないなかで大きな役割を果たしている。これらの活動が浸透してきて、実際にJICAのプロジェクトにもWIDの影響が見え始めてきている。JICAがコマヤグゥアで協力してきた農業開発研修センター（CEDA）では、最近女性の研修者が多くなってきたことを指摘している。農業の技術研修の受講者が暗黙のうちに男性であるということが女性受講者への対応を欠くことになってしまった。女性が安心して研修期間中、生活、宿泊ができる施設整備の必要性といった対応の課題が生じることになった。

(3) 日本のこの分野での対応

ホンデュラスにおける日本のこの分野での協力は、国連諸機関、他の援助国の活動から後発となっていることは否めない。今回の調査の目的である日本の農村生活改善の固有の経験をこの問題にどのように活用できるかという課題の観点からは、以下のようにまとめられる。

● **「生活改善普及」の言葉は存在しても、これを目的とした組織はない**

天然資源省、農地開発庁、文部省、厚生省及び国家社会福祉委員会（JUNTA）など政府の諸組織には普及組織があり、実際の活動ではカマドの改善や栄養指導といった生活改善活動を実施している。しかしながら、いずれも他の目的のツールでしかなく、全体的な生活を視野に入れて改善し向上していくという総合性が欠如してしまっている。農村の実態でも触れたが、識字教育の普及を農村地域でしている普及員も女性が家事、家族の世話、農耕と多忙であることのなかで自らの仕事を実現していくための手段としてカマドをつくったりして生活が楽になることから始めていく手順をふんでいるにすぎない。

日本の場合、農業生産と農村生活が一体であり、その総合的な改善策が生活の全般的な向上に効果を示してきたわけであるが、これを全般的に位置づける組織として女性委員会が組織化されているが、普及体制まで含められたものではない。

● **ホンデュラスで想定される、この分野での協力の方向**

この分野での協力の方向として考えられるのは、ホンデュラス社会の固有の生活様式を前

提とした総合的な生活改善政策をたて、その具体的な実行組織としての普及体制を確立することであり、これらの活動を農村の総合開発に反映していく方途を位置づけ、そのメインストリームに女性を据えることである。

① 総合的な女性・生活分野の政策アドバイザーの派遣

総合的な農業生産と関連づけた農村生活の改善と女性の参加を実施していくために天然資源省をベースとして女性・生活分野の政策アドバイザーを派遣することが、まず考えられる。現在天然資源省が、大統領直轄下の農村女性委員会（CIMRA）の事務局をしていることから国連諸機関、関係援助国の専門家と連携をとりながら農村生活という総合性の観点を活かし、より具体的な普及体制づくりなどを通じて女性の参加を位置づけることができる専門家の派遣が考えられる。

② 既存のJICAの農業関係プロジェクトへの技術アドバイザー、専門家の派遣

生産と生活が一体となった生活改善を推進していくために農村開発計画など地域を主体としたプロジェクトに生活技術と女性の参画、組織化など技術指導を行える専門家の派遣が考えられる。この場合、ホンデュラスに多くいるJOCV隊員の農村開発、あるいは家政担当の隊員にも技術指導、普及の助言ができる体制が望まれる。

③ 女性・生活主導型の村落開発モデルプロジェクトの実施

女性の参加、その主体を前提とした生活主導型の村落開発モデルプロジェクトの実施が総合的な方法として考えられる。この場合、主体となるのは農地改革法によって創出されてきた女性の集団を核とすることが考えられる。実際に、今回の調査でインティブカ県アサカルピータの少数民族、レンカ族の女性グループが共同で野菜栽培を実施している事例があった。このような女性集団をターゲットグループにしながら、農業技術と同時に生活の改善を男性を視野に入れながら実施していくことが考えられる。このような集団がまとまって、ある地域においての展開が協力のレベルとして考えられてくる。

農業生産技術、自家用野菜を使用した栄養・食生活改善、カマドなどの生活技術改良を通じた住宅改善、燃料・飲料水確保・託児など地域での生活共同化の実施とこれを通じた地域・集団での女性世帯主世帯の援助体制づくり、生活改善による時間創出と自己啓蒙として識字、グループによる起業、経営の知識やノウハウの学習、それに基づいた小規模生産販売組織の経営・運営といった活動が想定できる。これらの小規模の村落開発を支える改善資金制度の確立を、併せて整備しておくことも必要である。

④ これらの活動を支える総合的な調査・研究・研修施設の整備

農村地域での女性・生活改善を中心とする協力体制でもっとも重要な点は冒頭に述べた農村生活の総合性の観点を維持した開発プログラムの重要性である。この考え方をベース

に生産と生活が一体となった農村生活の調査、研究、データづくりを通じて堅実な実際生活に適合した方途を見極める手段が必要になってくる。生活の分野は生産のように収量や販売額、生産性といった比較的簡潔な目標をもっているものではなく、多義的な価値をもっている。また、この価値のおき方も民族、地方など多様な様相をもっている。そこに生活の大きな特徴が存在する。改善や改良といったことばのなかには現在の生活がいかにも遅れているということが暗黙のうちに存在していて、その民族、地域性などに基づく固有の価値を無視しがちである。生活の改善が、日本でも経験してきたように単純な価値判断ではかえって問題を複雑にすることになってくる。このために農林水産省の外郭に農村生活総合研究センターのような研究集団をつくって大きな成果をあげてきた。このような調査、研究、研修施設があると多くの関係機関や技術者、リーダーに研究結果、情報、データ、研修などができるようになり、情報交換や政策提言も可能となる。研修教材、ビデオ制作、開発地図などの提供などの事業もできる。この機関を通じてNGOと結んだ一体的な技術蓄積と交流などの展開が予想される。

ホンデュラスのこれらの事業を展開していくうえで政権交代による大幅な人事異動がこれまで多くあり、これが技術蓄積のネックとなっていることが、関係各方面で聞かれた。技術蓄積が困難である場合に、このような機関がNGOと連携を保ちつつ、この種の専門家の権威づけなどの役割を果たしていくことが可能となる。

以上、ホンデュラスのわずかな時間での調査、乏しい資料のなかから以上のような考え方ができる。今後、実際に実施していくうえではかなりの綿密な調査が必要であり、どのような協力ができるかについて早期にこの分野の専門家をホンデュラスに派遣して実際のデータ収集とコンセンサスづくりをすることが肝要であろう。性急な技術分野での専門家の派遣より総合的な実際のデータ分析ができる政策アドバイザーが優先されるべきであろう。そして関係政府機関、国際協力機関、他の援助国など先行している機関のノウハウとの調整を無視することはできない。

3．国際機関とのこの分野の協力の方向

（1） 国連機関への農村生活・女性専門家の派遣

この分野における国際機関との協力の方向として、各地域のFAO、UNDP事務所へ日本独特の農村の生活改善をベースとした農村生活改善・WID担当の専門家を派遣することを検討する。派遣された専門家の役割は、以下のような業務が考えられる。

① 基礎的な農村生活に関する調査・研究

② 農村生活改善事例の収集整理、交換

③ 農村生活にかかわる適正技術の収集とデータベース化

④ 農村生活改善をベースとした農村開発方式の研究

⑤ 女性の農村開発過程への参加方式の研究

⑥ この分野の援助協力の啓蒙推進

(2) 農村生活・女性に関するパブリケーションの援助協力

(1)で収集したり、調査・研究結果のパブリケーションの援助協力を検討する。特に仮称「農村生活調査研究情報サービス」などの制度化が考えられる。この類似例としてカナダ国際開発機関（CIDA）がホンデュラスの女性のプロフィールを刊行しているが、参考となろう。

報告書、啓蒙書、パンフレット、小冊子、機関誌などの書籍・雑誌の刊行ばかりでなく、地図やイラスト集なども考慮すること、また、ビデオ制作、電子化された情報や刊行物など新しい媒体などを積極的に活用したものが考えられる。

(3) 農村生活・女性に関する統計調査技術の協力

労働力など経済統計など女性の実態が反映しないものが多く、これらの実態を統計データとして提示する作業は最も基本的資料となる。日本でも農林水産省婦人・生活課が多くの努力をして既存のデータの組み替えや女性の実態が反映する調査方式を導入して調査データを積み上げてきた。統計データについても日本の経験から見ても男性中心型に組み立てられており、なかなか実態が把握しにくい状況にある。この分野での日本の調査技術は世界の最高水準にある。

この生活・女性分野の調査の根底には、生活を把握する基本的な研究が必要になる。生活の実態は、一般的に把握しにくい分野でもある。日本の農村生活の実態を把握するために、農村生活の現場に入り込んだフィールドワークが主体となっている。これらをベースに基本的な資料、並びにデータが形成される。

(4) その他の協力

以上の分野のほかに以下の事業が考えられる。農村生活と女性の分野は、世界の動向から見ても、まだ、体系化された分野ではない。ボリヴィア、ホンデュラスで見てきたように生活改善の普及体制を見ても貧困対策であり、他の技術普及の手段であったりしている。日本のこの分野での経験と蓄積は、大きな援助協力の一手法として有望な領域である。これらの生活概念、これに基づく女性主体の生活改善手法の有効性を検討する以下のような事業を推進することも必要であろう。

① 農村生活技術データベースと技術見本展示

② 女性と農村生活に関する国際シンポジウムの開催

③ 女性と農村生活の国際ネットワークの形成と展開

4．国内の協力体制

ボリヴィア、ホンデュラスの調査を踏まえて、女性を主体とした農村生活改善分野での国内の援助協力体制について調査団で議論されたことについてまとめ、報告の締めくくりとする。

● 専門家の役割と内容

II章（ボリヴィア）とIII章（ホンデュラス）の各章で農村の生活と女性のくらしを見てきたが、いずれの国でも農村生活は、固有の文化に根ざした非常に多様な様相を示している。個々の生活文化のコンテキストに左右されて、なかなか一般化しにくい側面をもっている。この生活のなかで女性はまた固有の男女関係（ジェンダー）のなかにあり、女性の力を引き出すのに援助を受ける側でも援助をする側でも把握が難しい分野である。これらの協力は、基本的にしっかりとした調査研究のもとに組み立てる必要性がある。生活は私的な領域として無視されがちであるが、人間生活の最も基本的な場面でもある。

生活改善の経験と技術蓄積がある日本の専門家でも、この技術中心になると生活の基本的な部分を忘れがちになる。日本で有効であった生活技術が、これらの国々の農村生活改善や女性の技術向上にストレートに役立つことはほとんどないかもしれない。どうしても農村生活と女性の調査研究と生活改善技術普及が相互に連携をとって行われることが必要になってくる。

専門家は、以上の両面が理解できるキャリアがあることが望まれる。固有の文化的な生活のコンテキストを把握して、地域のくらしに隠れている生活の智恵を評価して、現在のくらしのなかに応用していくことができる技術を体得していることが前提であろう。似た技術をそのまま移転することがほとんど難しい分野でもある。地域の資源を評価して現在の生活に活かす度量も必要である。農村女性は識字率などの問題があり、日本の農村における状況とは全く異なる言語状況である。日本の文化固有の漢字を用いた普及方法はすでに成り立たないのである。

このような農村生活改善と女性の技術向上分野での専門家の育成と活動するうえでのバックボーンとなる国内体制の整備が急務である。

資　　　料　　　編

資料１　ホンデュラス　サンタバーバラとコマヤグゥアの農地と女性

資料２　カナダ国際開発機関（CIDA）の調査研究情報サービスの例

資料３　ボリヴィア、ホンデュラスの調査団収集資料リスト

資料1　ホンデュラス サンタバーバラとコマヤグゥアの農地と女性

表1　所有権供与数と女性の受益者数
サンタバーバラ及びコマヤグゥア管内

管区	所有権供与数	女性の受益者	女性の割合
Santa Barbara	16,000	2,848	17.8
Comayagua	8,000	1,169	14.6
合計	24,000	4,017	16.7

表2　土地の広さ別による女地主の配分(1986年)
コマヤグゥア管内

面積	所有地			女性地主			合計面積		
	数	構成比	累積%	数	構成比	累積%	数	構成比	累積%
1以下	355	24.1	24.1	349	29.9	29.2	196.98	3.6	3.6
1-5	629	42.7	66.8	525	44.9	74.8	1,255.81	23.0	26.6
5-10	218	14.8	81.6	147	12.6	87.4	1,035.38	19.0	45.6
10-20	149	10.1	91.7	87	7.4	94.8	1,186.17	21.8	67.4
20-50	123	8.3	100.0	61	5.2	100.0	1,776.53	32.6	100.0
合計	1,474	100.0		1,169	100.0		5,450.87	100.0	

出典:「土地の所有権供与計画、ＩＮＡ／ＡＩＤ 1987 月」へ提供された表より

表3　土地の広さ別による女性地主の配分(1986年)
サンタ バーバラ管内

面積	所有地			女性の地主			合計面積		
	数	構成比	累積%	数	構成比	累積%	数	構成比	累積%
1以下	556	15.9	15.9	537	18.9	18.9	300.97	1.5	1.5
1-5	1,309	37.4	53.3	1,112	39.0	57.9	2,795.1	14.4	15.9
5-10	721	20.6	73.9	526	18.5	76.4	3,845.59	19.7	35.6
10-20	715	20.4	94.3	478	16.0	17.4	6,617.99	34.0	69.6
20-50	195	5.6	99.9	192	6.7	99.1	5,772.15	29.6	99.2
50 以上	3	0.1	100.0	3	0.1	100.0	150	0.8	100
合計	3,499	100.0		2,848	100.0		19,481.8	100.0	

出典:同様、1986年12月

表 4　所有地別の女性地主の配分（1986）
コマヤグゥア管内・自治都市

自治都市名	所有地		女性の地主		合計面積	
	数	構成比	数	構成比	数	構成比
アフタリケ	96	6.5	79	6.8	362.85	6.6
コマヤグゥア	327	22.2	252	21.6	1,133.41	20.8
エル ロサリオ	52	3.5	45	3.8	134.79	2.5
エスキアス	60	4.1	42	3.6	112.8	2.1
ウムヤ	2	0.1	2	0.2	18.45	0.3
ラ リベルタッド	187	12.7	165	14.1	513.22	9.4
ラマニ	68	4.6	42	3.6	293.04	5.4
ラ トリニダッド	9	0.6	5	0.4	60.91	1.2
メアンバー	71	4.8	57	4.9	264.24	4.8
ミナス デ オロ	16	1.1	13	1.1	129.02	2.4
オホス デ アグア	102	7.0	82	7.0	415.39	7.6
サン ヘロニモ	166	11.3	118	10.1	523.1	9.6
サン ホセ(C)	77	5.2	58	5.0	384.02	7.0
サン ホセ(P)	1	0.1	1	0.1	24.41	0.5
サン ルイス	64	4.3	50	4.2	140.25	2.7
サン セバスティアン	15	1.0	13	1.1	99.18	1.8
シグゥアテペケ	131	8.9	118	10.1	518.36	9.5
ビラ デ エサ アー	30	2.0	27	2.3	315.37	5.8
	1,474	100.0	1,169	100.0	5,450.87	100.0

表5　自治都市・所有地別の女性地主の配分、1986年
ホンデュラス：サンタバーバラ管内

自治都市名	所有地		女性地主		合計面積	
	数	構成比	数	構成比	数	構成比
アラダ	96	2.7	72	2.5	405.40	2.1
アティマ	283	8.0	207	7.3	961.47	5.0
アサクアルパ	285	8.1	217	7.6	1,288.79	6.6
セグアカ	14	0.4	11	0.4	100.72	0.5
コリナス	225	6.4	190	6.7	1,246.79	6.4
コンセプション エネ	152	4.3	131	4.6	984.65	5.1
コンセプション エセ	45	1.3	31	1.1	139.78	0.7
チンダ	62	1.8	56	2.0	499.56	2.6
ニスペロ	154	4.4	131	4.6	565.38	2.9
グァアララ	64	1.8	54	1.9	298.95	1.5
ジャマ	177	5.1	155	5.4	1,341.67	6.9
マクエリソ	395	11.3	317	11.1	2,297.30	11.8
ナランヒト	224	6.4	173	6.1	1,256.01	6.5
ヌエボ　セリラク	78	2.2	66	2.3	451.81	2.3
ペトア	54	3.0	91	3.2	755.97	3.9
プロテクション	23	0.6	19	0.7	146.16	0.7
キミスタン	211	6.0	178	6.2	1,583.04	8.1
サン フコ オヘラ	30	0.9	27	1.0	334.83	1.7
サン ルイス	21	0.6	19	0.7	134.46	0.7
サン マルコス	102	2.9	89	3.1	561.84	2.9
サン ニコラス	143	4.1	124	4.4	625.38	3.2
サン ベセンテ セー	23	0.7	20	0.7	208.35	1.1
サンタ バーバラ	153	4.4	137	4.8	1,020.28	5.2
サンタ　リタ	13	0.4	8	0.3	56.89	0.3
トリニダッド	258	7.4	212	7.4	1,621.98	8.3
サカパ	164	4.7	113	3.9	594.83	3.0
合計	3,499	100.0	2,848	100.0	19,481.80	100.0

表6　性別、所有形態別の国内での土地の所有人口
1986年6月から1987年8月の間

土地の所有形態	合計	構成比	性別			
			男性		女性	
			数	構成比	数	構成比
合計	3,860		3,649	94.5	211	5.4
財産	2,055	53.2	1,920	52.4	35	63.9
国土	84	2.1	80	2.2	4	1.8
公有	119	3.1	111	3.0	8	3.8
賃貸	813	21.0	798	21.6	23	10.9
組合	124	3.2	113	3.1	11	5.2
復興	21	0.5	21	0.6		
譲渡	644	16.7	614	16.8	30	14.2

出典：『ECSPTR-3計画 UNDP/UNIFEM/SECPLAN:女性に関する国家政策 1988年』より
（注）使用されたデータは1987年のサンプルからとったもので従ってこれら数値の展開の要素は考慮されていない。

表７　"財産所有地"としての耕地を所持していた国内人口（利用形態・性別）
（1986年９月〜1987年）

土地の利用形態	合計	構成比	区画数											
			1％以下		1〜5％		6〜10％		11〜20％		21〜50％		50％以下	
			数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比
男女計	3,282		432	13.1	1,427	43.5	589	17.9	375	11.4	293	8.9	166	5.1
農業	1,988	60.5	385	19.3	983	49.4	284	14.3	163	48.2	113	5.7	60	3.0
牧畜	447	13.6	9	2.0	117	26.2	113	25.2	73	16.3	79	17.6	56	12.5
その他の利用	344	17.3	23	6.6	153	35.0	75	21.8	54	15.6	29	8.4	10	2.9
放地	437	13.3	15	3.4	153	35.0	103	23.5	77	17.6	59	13.5	30	6.8
貸地	66	2.0			21	31.8	14	21.2	8	12.1	13	19.6	10	15.1
男性	3,070	93.5	401	13.0	1,329	43.2	567	18.4	344	11.2	278	9	151	4.9
農業	1,871	60.9	357	19.1	924	49.3	274	14.6	151	8.0	109	5.8	56	2.9
牧畜	414	13.5	9	2.1	107	25.8	106	5.6	66	15.9	76	18.3	50	2.6
その他の利用	322	10.5	21	6.5	142	44.0	74	22.9	49	15.2	26	8.0	10	
放地	407	13.2	14	3.4	140	34.3	100	24.5	71	17.4	56	13.7	26	6.3
貸地	56	1.8			16	28.5	13	23.2	7	12.5	11	19.6	8	15.0
女性	212	6.4	31	7.1	98	6.8	22	3.7	31	8.2	15	5.1	15	9.0
農業	117	55.2	28	90.3	59	60.2	10	45.4	12	38.7	4	26.6	4	26.6
牧畜	33	15.5	2	6.4	10	10.2	7	31.8	7	22.5	3	20.0	6	40.0
その他の利用	22	10.4	1	3.2	11	11.2	1	4.5	5	16.1	3	20.0		
放地	30	14.1			13	13.2	3	13.6	6	19.3	3	20.0	4	26.6
貸地	10	4.7			5	5.1	1	4.5	1	3.2	2		1	6.6

出典：『ECSFTR-3計画,UNDP/UNIFEM/SECPLAN：女性に関する国家政策　1988年』より
（注）使用されたデータは1987年のECSFTRのサンプルからとったもので
従って、これらの数値の展開の要素は考慮されていない。

表８　"国土"としての耕地を所持していた国内人口（利用形態・性別）
（1986年～1987年）

土地の利用形態	区画数													
	合計		1％以下		1～5％		6～10％		11～20％		21～50％		50％以下	
		%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%
男女計	121		28	23.1	50	41.3	13	0.1	10	8.2	6	4.9	14	11.5
農業	82	67.7	26	92.8	37	74.0	7	53.8	4	40.0	3	50.0	5	35.7
牧畜	10	8.2	1	3.5	1	2.0	1	7.7		20.0	1	16.0	4	28.5
その他の利用	14	11.5	1	3.5	6	12.0	2	15.4	3	30.0	1	16.0	1	7.1
放地	14	11.5			6	12.0	2	15.4	1	10.0	1	16.0	4	28.5
貸地	1	8.5					1							
男性	115	95.0	26	92.8	50	100.0	9	69.2	10	100.0	6	100.0	14	100.0
農業	79	68.7	24	92.3	37	74.0	6	66.6	4	40.0	3	50.0	5	35.7
牧畜	18	8.7	1	3.8	1	2.0	1	11.1	2	20.0	1	16.6	4	28.5
その他の利用	14	12.1	1	3.8	6	12.0	2	22.2	3	30.0	1	16.6	1	7.1
放地	12	10.4			6	12.0			1	10.0	1	16.6	4	28.5
貸地														
女性	6	4.9	2	7.1			4	30.7						
農業	3	50.0	2	100.0			1	25.0						
牧畜														
その他の利用														
放地	2	33.3					2	50.0						
貸地	1	16.6					1	25.0						

出典：(注) 表７同様

表9　"共有地"としての耕地を所持していた国内人口（利用形態・性別）
（1986年9月～1987年）

土地の利用形態	合計		1%以下		1～5%		6～10%		11～20%		21～50%		50%以下	
	区画数													
		%	No	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%
男女計	156		42		77		10		15		5		7	
農業	118	75.6	39	92.8	61	79.2	6	60.0	7	46.6	3	60.0	2	28.5
牧畜	10	6.4	1	2.4	1	1.3	1	10.0	2	13.3	2	40.0	3	42.8
その他の利用	17	10.9	1	2.4	12	15.6			3	20.0			1	14.2
放地	10	6.4	1		2	2.6	3	30.0	3	20.0			1	14.2
貸地	1	6.0			1	1.3								
男性計	146	93.6	38	90.4	75	97.4	10	100.0	13	86.6	3	60.0	7	100.0
農業	110	75.3	35	92.1	59	78.6	6	60.0	6	46.1	2	66.6	2	28.5
牧畜	9	6.1	1	2.6	1	1.3	1	10.0	2	15.3	1	33.3	3	42.8
その他の利用	17	11.6	1	2.6	12	16.0			3	23.0			1	14.2
放地	9	6.1	1	2.6	2	2.6	3	30.0	2	15.3			1	14.2
貸地	1	0.6			1	1.3								
女性計	10	6.4	4	9.5	2	2.6			2	13.3	2	40.0		
農業	8	80.0	4	9.5	2	100.0			1	50.0	1	50.0		
牧畜	1	10.0									1	50.0		
その他の利用														
放地	1	10.0							1	50.0				
貸地														

出典：(注) 表7同様

表10 "賃貸地"としての耕地を所持していた国内人口（利用形態・性別）
（1986年9月～1987年8月）

土地の利用形態	合計		1%以下		1～5%		6～10%		11～20%		21～50%		50%以下	
		%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%
男女計	943		468	49.6	425	45.0	34	3.6	12	1.2	2	0.2	2	0.2
農業	812	86.1	426	91.0	357	84.0	20	58.8	7	58.3	1	50.0	1	50.0
牧畜	40	4.2	11	2.3	18	4.2	6	17.6	3	25.0	1	50.0	1	50.0
その他の利用	48	5.1	16	3.4	30	7.0	1	2.9	1	8.3				
放地	39	4.1	14	3.0	18	4.2	6	17.6	1	8.3				
貸地	4	4.0	1	0.2	2	0.4	1	2.9						
男性計	917	97.2	452	96.5	416	97.8	33	97.0	12	100.0	2	100.0	2	100.0
農業	789	86.0	412	91.0	349	83.8	19	57.5	7	58.3	1	50.0	1	50.0
牧畜	39	4.2	10	2.2	18	4.3	6	18.1	3	25.0	1	50.0	1	50.0
その他の利用	47	5.1	15	3.3	30	7.2	1	3.0	1	8.3				
放地	38	4.1	14	3.1	17	4.1	6	18.1	1	8.3				
貸地	4	4.0	1	0.2	2	0.4	1	3.0	1	3.0				
女性計	26	2.7	16	3.4	9	2.1	1	3.0						
農業	23	88.4	14	87.5	8	88.8	1							
牧畜	1	3.8	1	6.2										
その他の利用	1	3.8	1	6.2										
放地	1	3.8			1	11.1								
貸地														

出典,（注）表7同様

表11 "組合"としての耕地を所持していた国内人口（利用形態・性別）
（1986年9月～1987年8月）

土地の利用形態	合計		1%以下		1～5%		6～10%		11～20%		20～50%		50%以上	
						区画数								
		%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%
男女計	166		26	15.6	66	39.7	15	9.0	10	6	9.0	5.4	40	24.1
農業	123	74.1	22	84.6	57	86.3	12	80.0	7	70	6.0	55.5	19	47.5
牧畜	6	3.6	1	3.8	2	3			1	10	1.0	11.1	1	2.5
その他の利用	22	13.2	2	7.6	3	4.5	2	6.6	1	10	2.0	22.2	12	30.0
放地	15	9.0	1	3.8	4	6	1	6.6	1	10			8	20.0
貸地														
男性計	154	92.7	23	88.4	57	86.3	15	100.0	10	100	9.0	100.0	40	100.0
農業	112	72.7	20	86.9	48	84.2	12	80.0	7	70	6.0	66.6	19	47.5
牧畜	6	3.8	1	4.3	2	3.5			1	10	1.0	11.0	1	2.5
その他の利用	21	13.6	1	4.3	3	5.2	2	13.3	1	10	2.0	22.2	12	30.0
放地	15	9.7	1	4.3	4	7	1	6.6	1	10			8	20.0
貸地														
女性計	12	7.2	3	11.5	9	13.6								
農業	11	91.6	2	66.6	9	100								
牧畜														
その他の利用	1	8.3	1	33.3										
放地														
貸地														

出典,（注）表7同様

表12 "復興地"としての耕地を所持していた国内人口（利用形態・性別）
（1986年9月から1987年8月）

土地の利用形態	合計	1%以下		1-5%		6-10%		11-20%		21-50%		50%以下	
		No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%	No.	%
男女計	29	5		16		3		5					
農業	21	5		12		2		2					
牧畜	2			1				1					
その他の利用	3			2				1					
放地	3			1		1		1					
貸地													
男性計	29	5		16		3		5					
農業	21	5		12		2		2					
牧畜	2			1				1					
その他の利用	3			2				1					
放地	3			1		1		1					
貸地													
女性計													
農業													
牧畜													
その他の利用													
放地													
貸地													

出典.（注）表7同様

表13 “譲渡地”としての耕地を所持していた国内人口（利用形態・性別）
（1986年９月から1987年８月）

土地の利用形態	合計		1％以下		1－5％		6－10％		11－20％		21－50％		50％以下	
		％	No.	％	No.	％	No.	％	No.	％	No.	％	No.	％
男女計	779		286	36.7	402		56	7.1	17		13	1.6	5	0.6
農業	639	82.0	263	91.9	330	82.1	31	55.3	9	52.9	4	30.7	2	40.0
牧畜	52	6.7	8	2.8	25	6.2	9	16.1	4	23.5	4	30.7	2	40.0
その他の利用	48	6.1	10	3.5	28	6.9	5	8.9	1	5.8	4	30.7		
放地	38	4.8	5	1.9	19	4.7	9	29.0	3	17.6	1	7.7	1	20.0
貸地	2	2.0					2	3.5						
男性計	745	99.4	262	91.6	394	98.0	56	100.0	15	88.2	13	100.0	5	100.0
農業	610	81.8	241	91.9	324	82.2	31	55.3	8	53.3	4	30.7	2	40.0
牧畜	50	6.7	7	2.7	24	6.1	9	16.0	4	26.6	4	30.7	2	40.0
その他の利用	47	7.7	9	3.7	28	7.1	5	8.9	1	6.6	4	30.7		
放地	36	6.9	5	1.9	18	4.6	9	16.0	2	13.3	1	7.6	1	20.0
貸地	2	0.3					2	3.5						
女性計	34	4.3	24	8.4	8	2.0			2	11.7				
農業	29	85.2	22	91.6	6	75.0			1	50.0				
牧畜	2	5.8	1	4.16	1	12.5								
その他の利用	1	2.9	1	4.16										
放地	2	5.8			1	12.5			1	50.0				
貸地														

出典,（注）表７同様

資料2　カナダ国際開発機関（ＣＩＤＡ）の調査研究情報サービスの例

WOMEN IN HONDURAS A PROFILE: 1991
ホンデュラス女性のプロフィール：１９９１
CANADIAN INTERNATIONAL DEVELOPMENT AGENCY
カナダ国際開発機関

M.CELINA KAWAS C.　　Ｍ．セリーナ　カワス　Ｃ．
MELBAL L.ZUNIGA M.　　メルバル　Ｌ．ズニガ　Ｍ．

ABRIL 1991　　1991年４月
TEGUCIGALPA.HONDURAS テグシガルパ、ホンデュラス

INDEX

Executive Summary
Fact Sheet
Chapter 1:Historical and Cultural Context
1.1 Historical and Current Context
1.2 Gender Relations and Social Attitudes
1.3 Domestic Violence and Sexual Abuse
1.4 Women's Organization and Political Participation
1.5 Constraints and Opportunities which the Historical and Cltural Context Presents to Development Planners
Chapter 2:Socio-Economic Indicators on the Status of Women
2.1 Population
2.2 Women and Health
2.3 Women,Education and Training
2.4 Constraints and Opportunities which the Situation of Women offers to Development Planners
Capter 3:Women and Work
3-1 General Considerations
3-2 Laber Legislation Affecting Women
3.3 Women's Participation in the Laber Force
3.4 Urban Women and their Participation in the Informal Sector
3.5 Rural Women and Work
3.6 Women and Reproductive Work Responsibility
3.7 Constraints and Opptinities which Women's Working Situation Presents to Development Planners

資料３．調査団収集資料リスト

■ボリヴィアでの収集資料文献等

NO.	文献名	発行機関	形態	メモ
1	Centro Servicios Multiples de Tecnologias Apropiadas	Semta	パンフレット	活動の概要
2	catalogo de publicacioness	Semta	パンフレット	出版物カタログ
3	MANUAL DE CULTIVOS PROTEGIDOS	Semta	ブックレット	農産物耕作のマニュアル
4	Manual de Nutricion	Semta	ブックレット	栄養のマニュアル
5	Manual del Cemento y ferrocemento	Semta	ブックレット	灌がい用のタンクの作り方
6	Cartilla de Cultivos intensivos	Semta	ブックレット	集約耕作の手帳
7	Cartilla de Nutricion	Semta	ブックレット	栄養手帳
8	Cartilla de GANADERIA	Semta	ブックレット	牧畜手帳
9	Mantenimiento de Aerobombas	Semta	ブックレット	風車ポンプの管理
10	Suelo y Cobertura vegetal	Semta	ブックレット	農地と植物保護
11	CAMAS ORGANICAS PROTEGIDAS	Semta	ブックレット	保護有機栽培ベッド
12	Mujer COMMUNIDAD Y ORGANIZACION	CENTRO DE PROMOCION Y CAPACITACION DE LA MUJER	ブックレット	女性　コミュニティと組織
13	Mujer Y PRODUCCION	CENTRO DE PROMOCION Y CAPACITACION DE LA MUJER	ブックレット	女性と生産
14	Mujer y AMBITO DOMESTICO	CENTRO DE PROMOCION Y CAPACITACION DE LA MUJER	ブックレット	女性と家庭領域
15	MUJER Y GANADERIA EN LA CULTURA AYMARA	SETAM	ブックレット	アイマラ文化における女性と牧畜
16	Propuestas de Politicas Sectoriales para la Participacion de la Mujer en la Estrategia de Desarrollo	Coordinadora de la Mujer	BOOK	開発への女性参加戦略のための政策部門への提言
17	Mujer y agroecologia	FAO	BOOK	女性と農業生態(SEMTAの活動)
18	MUJER CAMPESINA EN SEMTA	SEMTA	PAPER	SEMTAにおける農民女性
19	CETRO DE PROMOCION Y CAPACITASION DELA MUJER	CEPROM	PAPER	CEPROMの概要
20	LA VOZ DEL PUEBLO AYMARA	RADIO SAN GABRIEL	ブックレット	アイマラの声
21	JUNTA NACIONAL DE SOLODARIDAD Y DESARROLLO SOCIAL	JNSDS	ブックレット	国家社会開発連帯委員会の概要
22	Con Solidaridad	JNSDS	ブックレット	さぁみんなで
23	JUNTA NACIONAL DE SOLODARIDAD Y DESARROLLO SOCIAL	JNSDS	パンフレット	国家社会開発連帯委員会の概要
24	CONSULTORIOS JURIDICOS FAMILIARES	JNSDS	パンフレット	家族法律相談所
25	EN LA REUNION PREPARARORIA DE LA NOVENA SESION ORDINARIA DEL PARLAMENTO ANDINO	JNSDS	PAPER	JNSDS総裁のアンデス国家会議に参加して
26	BOLIVIA SITUACION DE LA MUJER RURAL EN BOLIVIA POLITICAS Y PROGRAM PARA LA MUJER RURAL EN BOLIVIA	CEPROM	PAPER	ボリヴィア ボリヴィア農村女性の状況 ボリヴィア農村女性の政策とプログラム
27	PLAN DE POLITICA REGIONAL LOS ANDES	MICION HORANDA	COPY	アンデス地域の政治的計画
28	AGRICULTURA VIDE y FUTURO DE UN CONTINENTE	IICA	パンフレット集	大陸の農業生活と将来
29	PARTICIPACION DE LA MUJER EN EL DESARROLLO RURAL	IICA	ブックレット	農村開発への女性の参加
30	INFORMA NO.1	IICA	PAPER	IICA INFORMATION NO.1
31	INFORMA NO.2	IICA	PAPER	IICA INFORMATION NO.2
32	INFORMA NO.3	IICA	PAPER	IICA INFORMATION NO.3
33	INFORMA NO.4	IICA	PAPER	IICA INFORMATION NO.4
34	V PROGRAMA NACIONAL DE COOPERACION TECNICA 1992 - 1996	PUND(UNDP)	COPY	第５期ボリヴィア政府国家技術協力

■ホンデュラスでの収集資料文献等

NO.	文献名	発行機関	形態	メモ
1	COORDINACION Y CONSOLIDACION DE POLITICAS PROGRAMAS Y PROYCTOS PARA LA INCORPORACION DE LA MUJER AL DESARROLLD	PUND/SECPLAN/UNIFEM	COPY	開発への女性参加のための政策プログラムとプロジェクトの調整と強化
2	PROGRAMA DE EMPRESAS MATERNALES (EMMAS) COORDINACION Y CONSOLIDACION	JUNTA NACIONAL DE BIENESTAR SOCIAL(JNBS)	COPY	母性事業プログラムの調整と強化
3	PROGRAMA DE EMPRESAS MATERNALES (EMMAS)	JNBS	COPY	母性事業プログラムの調整と強化
4	INFORME ANUAL (UNIDAD DE LA MUJER Y JOVEN RURAL)	SERENA	COPY	農村女性と青年
5	REFORMA AGRARIA EN CIFRAS	I N A	ブックレット	農業改革統計
6	REFORMA AGRARIA Y DESARROLLO AGRICOLA	I N A	ブックレット	農業改革と農業開発
7	Concertacion Agraria	I N A	ブックレット	農業協定？
8	LISTA DE VOLUNTARIO EN INSTITUCIONES	J O C V　JICA ホンデュラス事務所	PAPAER	ホンデュラス協力隊　受入れ機関
9	C E D A Centro de Entremaniento de Desarrollo Agricola	C E D A	PAPER	ホンデュラス農業開発研修センター
10	研修センター研修活動とその手順	C E D A	PAPER	
11	ラ・エスペランサプロジェクトの輸出野菜の普及の現状と課題 ―モデル農場（アサクアルバ農協）を通して―	J O C V	PAPER	
12	農民生活実態調査最終報告書	J O C V	PAPER	
13	STATEMENT OF THE HONDURAS MINISTER OF PLANNING. COORDINATION AND BUDGET	S E C P L A N	COPY	計画調整と予算ホンデュラス政府声明 パリクラブ提出資料(経済企画省編)
14	協力隊業務	J O C V	COPY	
15	HONDURAS EN CIFRAS 1988-1990	BANCO DE CENTRAL DE HONDURAS	COPY	ホンデュラスの統計
16	ホンデュラス農業関係統計	不明	COPY	
17	Indicadores Economicos de Corto Plazo	BANCO CENTRAL DE HONDURAS	COPY	短期経済指標
18	Fase II del "Programa de Promocion y Capacitacion para la Incorporacion de la Mujer al Desarrollo Rural"	FAO/GOBIERNO	COPY	村落開発への女性参加プロモーションと能力プログラム　フェイズ II
19	DIRECTORIO DE ORGANIZACIONES NO GUBERNAMENTALES Y ORGANIZACIONES DE BASE EN HONDURAS ENERO 1992	PNUD (UNDP)	COPY	1992年ホンデュラスＮＧＯ台帳
20	Federacion de Desarrollo Comunitario de Hoduras	FEDECOH	パンフレット	OPDの組織例
21	FUNDCION HONDURENA DE INVESTIGACION AGRICOLA	FHIA	パンフレット	ホンデュラス農業研究財団
22	WOMEN IN DEVELOPMENT	USAID	COPY	USAID 政策ペーパー　W I D
23	ALFABETIZACION Y MUJERES La experiencia del proyecto IHDER/ANACH	Centro para el Esutudio de la Educacion	BOOK	アルファベットと女性
24	notas sobre la evolucion historica de la mujer en Honduras	leticia de oyuela	BOOK	ホンデュラス女性の歴史的変遷
25	manual de nutricion y horticultura	FAO	BOOK	栄養と野菜栽培のマニュアル
26	Integaracion de la nutricion en los proyectos de desarrollo agricola y rural (Manual)	FAO	BOOK	農業・農村開発プロジェクトにおける栄養の統合（マニュアル）
27	Integaracion de la nutricion en los proyectos de desarrollo agricola y rural (Seis estudios sw casos)	FAO	BOOK	農業・農村開発プロジェクトにおける栄養の統合
28	Seleccion de intervenciones para mejorar la nutricion (Manual)	FAO	BOOK	栄養改善のための選択的手法
29	Data Needs for Assessing the Nutritional Effects of Agricultural and Rural Development Projects (A Paper for Project Planners)	FAO	BOOK	農業・農村開発プロジェクトにおける栄養効果査定のデータニーズ

JICA